



第45期 事業報告書

2015年4月1日から2016年3月31日まで



エヌアイシ・オートテック株式会社

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第45期（2015年4月1日から2016年3月31日まで）の概況及び決算につきましてご報告申し上げます。

経営環境

当連結会計年度における世界経済は、先進国を中心に緩やかな回復基調が続きましたが、当連結会計年度の後半より中国をはじめとする新興国経済の減速感が強まり、世界経済全体が足踏み状態となりました。

わが国経済におきましては、企業収益及び雇用情勢は改善しているものの、個人消費は弱含みが続いており、世界的な需給の緩みなどから生じた資源安の進行、年明け以降の株価や為替といった金融市場の変動等によって、企業収益を取り巻く環境は、様々な変化がみられました。

通期連結業績及び取り組み

このような状況のもと当社グループは、F A 装置（FA:Factory Automation/「自動化・省力化装置」をいう。）等に使用される当社主力製品「アルファフレーム®システム」の大口案件を継続的に受注いたしました。また、海外向けのF A 装置においては、自動車部品の洗浄装置や検査装置等、クリーン装置としてはフラットパネルディスプレイ業界向けの大型カスタムクリーンブース等、当社グループの技術力を活かした提案型営業活動を展開し、受注を確保してまいりました。

なお、2015年1月に設立いたしました海外連結子会社（NIC Autotec (Thailand) Co.,Ltd.）につきましては、2015年11月に機械設備等の稼働準備も整い、同年12月から本格的な受注活動を開始しておりますが、最近のタイ王国のみならずA S E A N諸国の経済成長減速の余波を受け、厳しい立ち上がりとなりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、6,176百万円となりました。利益面につきましては、営業利益は563百万円、経常利益は565百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は363百万円となり、2006年の株式上場以来、最高益を更新いたしました。

なお、当社グループは、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しております。

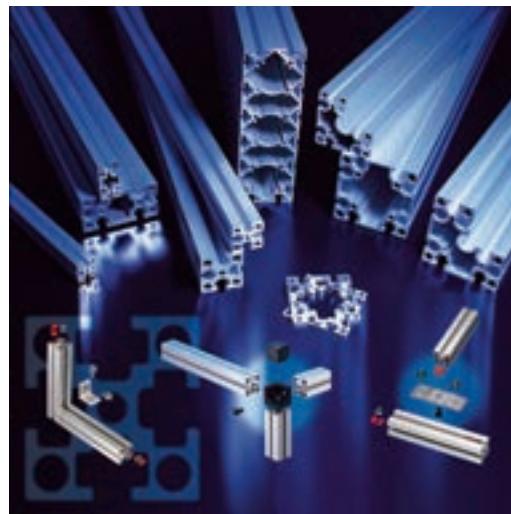
配当金

当社は、将来の収益力向上を図るために継続的な研究、開発投資を行いながらも内部留保の確保を図りつつ、「株主に対する利益還元」を重要な経営課題の一つとして捉え、経営成績やキャッシュ・フローの状況などを勘案し、株主の皆様にご理解していただけるよう安定的及び継続的な配当を実施していくことを基本方針としております。

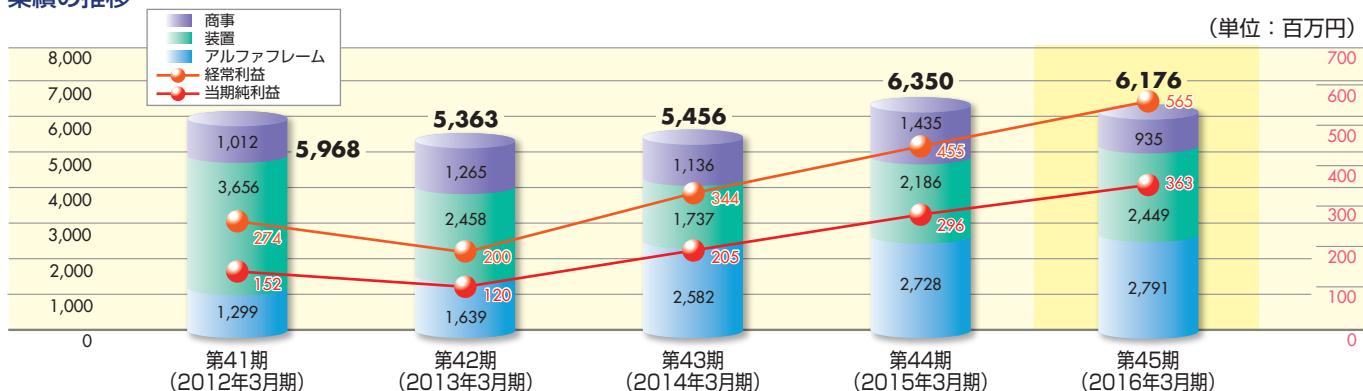
なお、当社は年2回（「中間」及び「期末」）又は年1回（期末）の剰余金の配当を行うこととしております。これらの剰余金の配当の決定機関は取締役会であり、当社定款において、「会社法第459条第1項の規定に基づき、取締役会の決議によって剰余金の配当を行うことができる。」旨及び「取締役会の決議により、毎年9月30日を基準日として中間配当を行うことができる。」旨を定めております。

また、内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応すべく設備投資や研究開発活動に充当する予定であり、資金を有効に活用して企業価値向上を図っていく方針であります。

これらの方針に基づき、当連結会計年度における業績は順調に推移し、各利益は当初予想値より増加となったことから、2016年5月9日に開催されました取締役会では、1株あたり普通配当23円とすることが決議されました。



業績の推移



※ 当社は、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しております。上記の業績推移に関しましては、比較有用性の観点から当連結会計年度（第45期）のセグメント別売上高及び各利益と、過年度のセグメント別売上高及び各利益の増減比較の推移を表示しております。従いまして、第45期の当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を表示しております。

次期の見通し

次期の見通しにつきましては、中国をはじめとする新興国経済の減速や、年明け以降の円高・株安による企業の景況感や消費者マインドの下振れ、在庫調整による生産抑制などから力強さを欠く状態が続くことが懸念されます。ただし、雇用・所得環境の改善傾向は続いており、緩やかにながら、回復基調へシフトしていくことが期待されます。

このような状況のなか、グローバル展開にて製造を営む企業にとって、品質の安定化は必要不可欠な状況となっており、このようなニーズに応えるべく当社グループは、次世代に適合する各種F A装置等の提案営業を図ってまいります。特に、自動車部品製造企業向けのF A装置(洗浄装置、検査装置)については、部品の品質の向上・安定化に向けた取り組みが顕著化しており、当社グループが提供するF A装置については高い評価を得ており、その受注確保に努めてまいります。

また、鉄鋼やステンレス等で製作されていた大型構造物(F A装置等の筐体)において、アルミニウム合金製構造物材への切り替えを検討したいとの問合せが益々高まっていることより、拡販ツールである「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用し、付加価値を高めた当社グループ主力製品「アルファフレーム®システム」の販売に注力してまいります。

加えて、今後とも益々グローバルに事業を展開する顧客のニーズに対応するために、開発のスピードアップと国内外に

おける製造、販売能力の大幅な増強が喫緊の課題であり、そのための人員増強も含めて積極的かつ継続的な設備投資が必要となります。

当社は、2006年6月に株式を上場後、立山工場敷地内において開発センター「I棟」及び生産棟「C棟」の二棟を新設してまいりました。安倍政権発足後、企業の投資及び雇用促進に関する政府による既存施策等々に加え、2016年度より新たに実施される政府の政策を鑑み、2016年は絶好の設備投資の機であると捉え、業容拡大に向けて「倍増計画元年」と位置付け、2020年までの5年間に上場以来初の大型設備投資を計画いたしております。

大型設備投資の主な概要は、当社基幹システムを更新するとともに、国内外における製造、販路拡大のため、先ず国内に新工場用地を取得、新工場を建設し、2016年度内稼働により開発・生産効率を大幅に高めることとしております。また、計画実現に向けて意欲的に人材の補強にも努める所存であります。

こうしたことにより、当社グループとしては2020年までに全生産ラインの延床面積を倍増する計画をいたしております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年6月

代表取締役会長 CEO 西川 浩 司

事業の内容

地球環境に優しくリサイクル性に優れたアルミ構造体「アルファフレーム®システム」の開発・設計・製造・販売を行う「アルファフレーム部門」。

アルファフレームの特長を活かし、各種工場で使用されるFA装置（洗浄・検査・搬送・梱包等の自動化装置）及びクリーンブース等の開発・設計・製造・販売を行う「装置部門」。

上記2部門のメーカー機能を活用した設備導入提案営業及び工業生産財を取り扱う「商事部門」。

これら3部門の相乗効果による高付加価値技術の提供を目的とした事業展開を行っております。



アルファフレーム + 装置 + 商事

高付加価値技術

ALFA FRAME SYSTEM

Automobile

Semiconductor/FPD/Clean

Microelectronics/Machine

Pharmaceutical/Food



ALFA FRAME SYSTEM

日本の自動化装置業界で長年の実績を持つ“アルミ構造体モジュール&システム”「アルファフレーム®システム」は、多種のアルミニウムプロファイルとその接続ブラケット及びアクセサリパーツで構成された機械構造用アルミニウム合金製フレームです。各種装置の筐体やカバーを製作するための最適なプロファイル、パーツを揃えております。

お客様の効率化を適切にフォローする「カクチャ™」、組立に必要な情報をフレームにプリントする「マーキングシステム™」、「ナット付フレーム」などのサービス拡充により、アルファフレーム導入の促進に貢献しております。

■ アルファフレームの優れた特長

1. 充実した製品群

ベーシックフレーム・ブラケットフレーム・スペシャルフレームから各種アクセサリまで、幅広い製品ラインアップで、お客様のあらゆるニーズにお応えいたします。

2. 仕様変更等も容易

溶接・塗装などの、わずらわしい工程が不要なため、急な設計変更や将来の増設にも容易かつ柔軟に対応することが可能です。

3. 幅広い分野に適用

機器取付部材の材料をはじめ、作業台や棚などの工業用品、さらには展示会用システム材など、多彩な分野で使用されております。



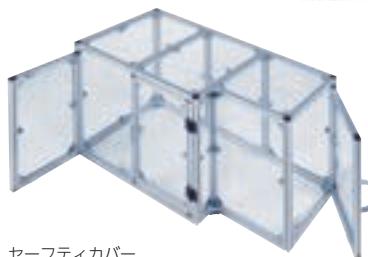
マシンカパー



マーキングシステム



アルファコンベア



セーフティカパー

■ 幅広い分野で使用されております

装置メーカーとして長年培った技術と知識で、様々なニーズに対応し、電子、精密、医療、食品などの幅広い分野で使用され、高い評価をいただいております。



電子メーカー様



精密機器メーカー様

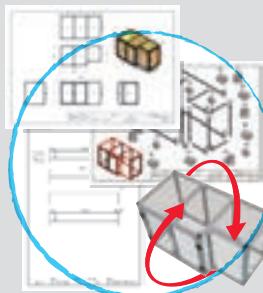


製薬メーカー様



食品メーカー様

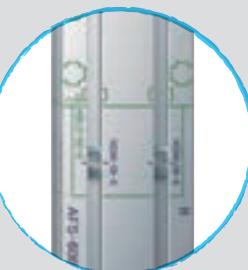
カクチャ + マーキング + ナット付フレーム の相乗効果



① 設計サポート



② マーキングシステム



③ ナット付フレーム

KAKCHAR™ Marking System™

① 設計サポートにより設計時間の短縮や過剰品質のコスト増を抑えます。また、図面番号での発注が可能になります。

② マーキングに合わせて取付けるため、組立時間の4割を占める「部材を探す、寸法を測る、手順を考える」といった作業時間削減が可能となります。

③ フレーム溝にナットセットが入った状態で納入されますので開梱後すぐに組立が行えます。

①～③の相乗効果により、時間、労力など「見えにくいコスト」の削減に大きく貢献いたします。

FACTORY AUTOMATION PRODUCTION GOODS



新たな分野へ積極的に参入することでノウハウの蓄積を行い、半導体・電子・精密機械・医薬品・食品業界まで、あらゆる用途に応じたFA装置(洗浄・検査・搬送・梱包等の自動化・省力化装置)及びクリーンブース等の開発・設計・製造・販売を行っております。

「アルファフレーム®システム」を基本部材として使用することにより、各種装置製作の効率化や短納期化が可能となります。

また、仕様を規格化した製品だけでなく、生産ライン構築の個別ニーズに対応し、お客様の必要に応じた様々な製品開発も行っております。



カスタムクリーンブース



コンベア



洗浄機 NCL215



乾燥機 CRL318E



商事部門

工業用砥石、工具・ツールなどの消耗品と工場等の機械設備を提供しております。

工業用砥石、やすり、工具・ツールなどの消耗品は、リピート受注が多いことが特長となっており、この安定した消耗品関係ビジネスが、当社の安定的な収益にも大きく貢献しております。

また、装置部門との連携により当社製品を活用した機械設備(生産ライン)の導入提案等を行い、多種多様なお客様のニーズにお応えする製品を提供しております。



工具・ツール



工業用砥石



油脂類



工作機械

海外現地法人 NIC Autotec(Thailand)Co., Ltd. บริษัท เอ็นไอที ออโต้เทค (ประเทศไทย) จำกัด

今後、大きな経済圏となるASEAN。その生産現場ではオートメーション化が進みその動きに貢献するため、2015年1月タイ王国に海外現地法人、NIC Autotec (Thailand) Co., Ltd.を設立いたしました。

「アルファフレーム®システム」を主力商品とし、小型部品洗浄機、残留クーラント回収装置、クリーンブースなどのFA装置に加え、独自のサービス(カクチャ™、マーキングシステム™)により様々な分野のニーズに貢献しております。

FAソリューション・プロバイダーとして独自の製品とサービスでさらに開発を進め、皆様のご期待に添えるよう努力を重ねてまいります。



Asia Industrial Estate Suvarnabhumi
111/10 Moo.4, Tambol Klongsuan, Amphur Bangbor,
Samutprakarn 10560 Thailand

〔工業団地名〕
アジア インダストリアル エステート スワンナプーム(AIES)
バンコク港(クロントイ)から40km
スワンナプーム国際空港から21km

新たな取り組み

● 人型ロボットを活用したシステムインテグレーション

生産工場の自動化はこれまで多くの方策が実施され、その延長線上での改善では大きな効果を見込むことが出来ないところまで来ております。

このような状況のもと、しくみのイノベーションとしてIoT（モノのインターネット / Internet of Things）などの動きが出ておりますが、物理的なイノベーションとしては、人と自動化装置の間の柵を無くした生産システムが注目され始めております。

今までの機械・装置では、人が怪我をしないよう様々な安全対策が施されてきましたが、安全に対する考え方のパラダイムシフトを行うことによって、全く新しい生産システムが生まれる可能性があります。

これを実現するためには、今までの常識を捨て、新しい常識を作り出す必要があります。

また、柵を無くして人と機械が協働すると言っても、従来のロボットの出力を人に怪我を負わせないレベルまで下げる程度の方法から人型の双腕ロボット運用まで、非常に大きな幅があります。

当社はロボットメーカーではありません。しかし、システムインテグレーターです。

この新しい常識を創出するため、当社はその環境づくりとして、難易度の高い人型の双腕ロボットを自社工場に導入いたしました。

生産効率、安全規格といった各問題から、現時点でその市場規模を予測することは大変困難な状況ではありますが、このしくみが実現すれば、IoTと結びつくことでさらに大きな効果をもたらすものになるでしょう。

人とロボットが一緒に働く近未来的な生産現場（次世代工場）の環境づくりとして、制御プログラムの構築や、ロボットの作業環境として必要な周辺機器・治具、及び

これらの目的に沿った新しいFA装置や「アルファフレーム[®]システム」を活用したユニット化の開発をめざしてまいります。



人（作業員）とロボットの共存作業を目指し、作業員と同じ動作でアルファフレームのT溝へ挿入する四角ナットと、これを保持するナットホルダーを、双腕ロボットが作業指示書に従い選定・整列する。

連結貸借対照表 (2016年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目		金 額
資 産 の 部		
流 動 資 産		3,601,894
固 定 資 産		2,088,943
有 形 固 定 資 産		1,467,624
無 形 固 定 資 産		19,576
投 資 そ の 他 の 資 産		601,742
資 産 合 計		5,690,837
負 債 の 部		
流 動 負 債		1,778,660
固 定 負 債		249,150
負 債 合 計		2,027,810
純 資 産 の 部		
株 主 資 本		3,623,649
資 本 剰 余 金		156,100
資 本 剰 余 金		146,100
利 益 剰 余 金		3,355,916
自 己 株 式		△34,467
そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額		39,377
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		42,196
為 替 換 算 調 整 勘 定		△2,818
非 支 配 株 主 持 分		—
純 資 産 合 計		3,663,026
負 債 及 び 純 資 産 合 計		5,690,837

連結損益計算書 (2015年4月1日～2016年3月31日) (単位：千円)

科 目		金 額
売 上 高		6,176,962
売 上 原 価		4,655,145
売 上 総 利 益		1,521,817
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		958,480
営 業 利 益		563,337
営 業 外 収 益		19,977
営 業 外 費 用		17,577
経 常 利 益		565,737
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益		565,737
法 人 税 等		202,450
当 期 純 利 益		363,286
非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 損 失		△344
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益		363,630

連結株主資本等変動計算書 (2015年4月1日～2016年3月31日)

(単位：千円)

	株 主 資 本				そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額				非 支 配 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額	為 替 換 算 調 整 勘 定	そ の 他 包 括 利 益 累 計 額		
当 期 首 残 高	156,100	146,100	3,102,121	△ 34,438	3,369,882	117,646	—	117,646	—	3,487,529
当 期 変 動 額										
剰 余 金 の 配 当			△ 108,976		△ 108,976					△ 108,976
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益			363,630		363,630					363,630
自 己 株 式 の 取 得				△ 28	△ 28					△ 28
連 結 範 囲 の 変 動			△ 858		△ 858		16	16	83	△ 758
株 主 資 本 以 外 の 項 目 の 当 期 変 動 額 (純 額)						△ 75,450	△ 2,835	△ 78,285	△ 83	△ 78,369
当 期 変 動 額 合 計			253,795	△ 28	253,766	△ 75,450	△ 2,818	△ 78,269	—	175,497
当 期 末 残 高	156,100	146,100	3,355,916	△ 34,467	3,623,649	42,196	△ 2,818	39,377	—	3,663,026

会社の概要 (2016年3月31日現在)

社名	エヌアイシ・オートテック株式会社 NIC Autotec, Inc.
設立	1971年5月17日
資本金	156,100千円
従業員数	175名
事業所	
本社	〒930-0034 富山県富山市清水元町7番8号
東京本社	〒135-0063 東京都江東区有明三丁目7番26号 有明フロンティアビルB棟11階
流杉工場	〒939-8032 富山県富山市流杉255番地
立山工場	〒930-0272 富山県中新川郡立山町塚越 398番176号
開発センター	同上
愛知事業所	〒458-0801 愛知県名古屋市長区鳴海町 母呂後185番地
アルファフレーム関西	〒578-0965 大阪府東大阪市本庄西 二丁目4番29号
アルファフレーム九州	〒837-0907 福岡県大牟田市四箇新町 一丁目2番地

海外子会社

NIC Autotec(Thailand)Co.,Ltd. タイ王国サムットプラカーン県

役員構成 (2016年6月25日現在)

代表取締役会長	CEO	西川浩司
取締役社長		西川武
取締役		西尾謙夫
取締役		土山邦夫
取締役		野村良一
常勤監査役		藤島敏夫
社外監査役		土屋重義
社外監査役		白石康広

会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

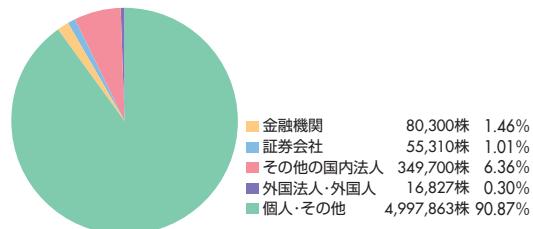
東京都港区港南2-15-3 品川インターシティ C棟

株式の状況 (2016年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 20,000,000株
- (2) 発行済株式の総数 普通株式5,500,000株
(自己株式51,241株を含む)
- (3) 株主数 1,938名
- (4) 大株主の状況

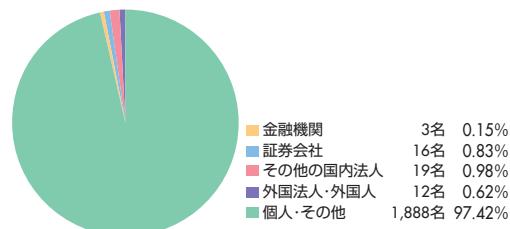
株主名	持株数
西川浩司	3,704,900株
大塚 歆一郎	247,000株
三協立山株式会社	202,500株
エヌアイシ・オートテック従業員持株会	127,900株
ダイトー株式会社	70,000株
株式会社三井住友銀行	50,000株
西川武	50,000株
植田 潤次郎	45,000株
中 敏明	32,700株
高津伝動精機株式会社	30,000株

(5) 所有者別株主分布状況 (所有株式数)



(注) 自己株式51,241株は、「個人・その他」に含まれております。

(6) 所有者別株主分布状況 (株主数)



(注) 自己株式は、「個人・その他」に含まれております。

証券コード 5742
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 期末配当金 毎年3月31日
(中間配当を行う場合は9月30日)
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告
して定めた日
単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031(フリーダイヤル)
(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【公告の方法】

当社のホームページに掲載いたします。

〈 <http://www.nic-inc.co.jp/> 〉

ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

【上場金融商品取引所】

東京証券取引所 JASDAQスタンダード

※株式に関するお手続きについて

1. 配当金受け取り方法のご指定、単元未満株式の買取、住所氏名等のご変更、株式の口座振替申請のお申出先について
証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、お取引のある証券会社にお申し出ください。
2. 未払い配当金のお支払い、その他株式事務に関する一般的なお問い合わせ
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

■ ホームページのご案内

- 当社の詳細情報はホームページをご覧ください。

エヌアイシ

検索

<http://www.nic-inc.co.jp/>

- アルファフレーム®の当社直販サイト

<http://www.nic-direct.jp/>



エヌアイシ・オートテック株式会社

富山本社

〒930-0034 富山県富山市清水元町7番8号 TEL 076-425-0738